

平成20年度 決算報告書

国立大学法人 北見工業大学

(単位 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,379	2,379	0	
施設整備費補助金	654	654	0	
補助金等収入	20	22	2	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	19	19	0	
自己収入	1,248	1,330	82	
授業料、入学金及び検定料収入	1,202	1,275	73	(注2)
雑収入	46	55	9	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	225	282	57	(注4)
目的積立金取崩	47	0	△47	(注5)
計	4,592	4,686	94	
支出				
業務費	2,964	2,888	△76	
教育研究経費	2,964	2,888	△76	(注6)
一般管理費	710	700	△10	(注7)
施設整備費	673	673	0	
補助金等	20	22	2	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	225	276	51	(注9)
計	4,592	4,559	△33	
収入-支出	0	127	127	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得により、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注2) 授業料、入学金及び検定料収入については、志願者及び入学者の増加により、予算額に比して決算額が73百万円多額となっています。
- (注3) 雑収入については、主として寄宿料収入及び学校財産貸付料収入の増加等により、予算額に比して決算額が9百万円多額となっています。
- (注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受入額の増加により、予算額に比して決算額が57百万円多額となっています。
- (注5) 目的積立金取崩については、当初予定していた事業を他の予算で実施したことにより、予算に比して決算額が47百万円少額となっています。

(注6) 教育研究経費については、主として人件費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が76百万円少額となっています。

(注7) 一般管理費については、主として人件費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。

(注8) 注1に示した理由により、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。

(注9) 注4に示した理由により、予算額に比して決算額が51百万円多額となっています。

- 支出の教育研究経費には、損益計算書上の教育経費、研究経費、教育研究支援経費、教員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいる。また、支出の一般管理費には、損益計算書上の一般管理費、役員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいる。